

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①特色ある国際理解教育と「総合的な探究の時間」に係る研究と実践をとおして、探究的でグローバルな視野を持つ人材を育成する。</p> <p>②「育てたい生徒像」を見据え、共通性と多様性のバランスに配慮した教育課程の策定と実施を図るとともに、特別活動の充実をめざす。</p> <p>③「主体的・対話的で深い学び」をめざし、授業改善を実施する。</p> <p>④基礎的基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視し、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>①特色ある国際理解教育を発展させ、姉妹校とのオンライン交流を実施する。また、新たに姉妹校となる対象校を検討する。</p> <p>・SDGsに係わる探究活動を継続させ、教科の枠を超えた探究活動発展を目指す。</p> <p>③④「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業を実践し、生徒の思考力・判断力・表現力を育成するとともに、主体的に学ぶ意欲を向上させる。</p>	<p>①姉妹校交流は、オンラインや文通等で姉妹校交流を継続する。</p> <p>・新たに海外の学校との姉妹校締結に向けて情報収集を行い締結できる学校を検討する。</p> <p>・SDGsに係わる探究活動について、昨年度までの取組の継続・精選・見直し等検討を行い、今後3年間の見直しを立て実践する。</p> <p>③④「主体的・対話的で深い学び」をテーマとした授業改善を行い、生徒の思考力・判断力・表現力が高まる授業を実践する。また、職員間で授業改善のための情報交換ができたか。</p> <p>・1人1台端末を活用し、主体的に学ぶ意欲を向上させるための授業を実践する。</p>	<p>①姉妹校との交流を行うことができたか。また、生徒が国際理解教育を意識した実践的な活動を行うことができたか。</p> <p>・新規姉妹校との締結ができたか。</p> <p>・探究活動を全学年で見直しをもって取り組むことができたか。</p> <p>③④思考力・判断力・表現力が高まる授業を実践できたか。また、職員で意見交換し情報共有ができたか。</p> <p>・生徒対象のアンケート結果から1人1台端末が有効に活用されたと判断できるか。</p>					
2 生徒指導・ 支援	<p>①部活動の充実をとおして自己理解や他者理解を深める支援を行う。</p> <p>②交通安全指導を通してマナーの向上と事故防止に取り組む。</p> <p>③人権尊重の精神および規範意識を高める取組を推進する。</p> <p>④生徒一人ひとりの個に応じた生徒支援体制の確立を図る。</p>	<p>①部活動の活動を充実させ、活動をとおして生徒の人格形成の支援を行う。</p> <p>③④「いじめ・学校生活についてのアンケート」と、教育相談を組織的に行う。また、生徒理解のための個人面談を実施し、問題発生時には、管理職、学年職員、保護者が連携し迅速な対応を行う。</p>	<p>①部活動顧問の適切な配置と顧問間の連携により、生徒が主体的に活動できるように支援する。</p> <p>③④年2回の「いじめ・学校生活についてのアンケート」と個人面談を実施し、いじめ問題等に初期対応できる体制を整える。問題発生時は、管理職、学年職員、保護者が連携し迅速な対応を図る。</p>	<p>①部活動調査において、主体的に取り組んだ生徒の割合が参加した生徒の9割を超えているか。</p> <p>③④いじめ問題の発生を防ぐことができたか。</p> <p>・問題発生時に、職員等で連携し、迅速で適切な対応を行うことができたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①大学等における多様な入試形態を見据え、生徒一人ひとりの進路希望実現に向けたきめ細かな支援体制を充実させる。 ②教科における学習活動と進路指導との連携を図り、生涯にわたって基盤となるキャリア教育を実施する。	①入試動向情報を的確に把握し、担任団と情報を共有して生徒の希望進路の実現に向け支援する。 ・進路指導室の生徒の利用率を高める。  ②高大連携、インターンシップへの参加を安全かつ積極的に進める。	①教員向けガイダンスを実施し近年の入試状況を共有する。また生徒向けに大学の入試担当者を招き具体的な入試対策の講演会を開く。 ・進路指導室の資料の充実を図る。 ②テレワーク方式等のインターンシップを実施し生徒の就業体験機会を設ける。	①効果的なガイダンスや講演が実施できたか。 ・進路指導室の利便性が整ったか。  ②インターンシップを実施することができたか。					
4	地域等との協働	①生徒一人ひとりが社会参画意識をもって地域や世界とつながる意識を高める支援を行う。 ②地域等と連携・協働した災害への備え、対応をさらに深める。	①学校周辺の美化活動を実施し、地域に愛される学校を目指す。  ・ボランティア活動や地域への貢献活動を通じて、社会の一員としての意識を醸成する。  ②DIG 研修や避難訓練、地域の行政機関と連携した防災体験訓練をとおりて防災意識を高める。	①各学年で年1回、行事ごとに委員会や部活動の生徒で学校周辺のゴミ拾い活動を実施する。 ・ボランティア活動の案内を広く周知し、生徒の参加を促す。部活動等においても積極的に地域への貢献活動に参加する。  ②防災委員を中心としたDIG 研修や避難訓練、地域の行政機関と連携した防災体験訓練を実施し、防災意識を高める。	①各学年で1回、委員会や部活動等で、学校周辺のゴミ拾い活動を実施できたか。 ・地域に参画する意識が向上し、個人でのボランティア活動、部活動での地域貢献活動への参加があったか。 ②DIG 研修と地域の行政機関と連携した防災体験訓練を実施することができたか。 ・防災意識をもって訓練に参加することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①ICT環境の整備改善を進めるとともに、HP等を活用して本校の教育活動に係る情報発信を充実させる。 ②安心・安全な教育環境の整備を充実させるとともに、事故・不祥事防止のさらなる徹底を図る。 ③働き方改革の推進に向けて、組織的な取組を進めていく。	①ICT環境の整備改善を進め、教職員の機器活用のスキルアップを行う。 ・HPの更新頻度を上げ、最新の情報を発信する。  ③仕事の効率化に向け、ノー残業デーを設ける。	①ICT環境の整備を進める。 ・機器活用の研修の機会を設け、機器活用のスキルアップを図る。  ・Wi-Fi の環境の改善を進める。  ・各グループごとに情報発信を行い、HPの更新頻度を上げ、最新情報を提示する。	①ICT環境の整備を進めることができたか。 ・職員の8割が、機器活用について自身のスキルアップを図ることができたか。 ・Wi-Fi の環境がよくなり、効率よく機器の活用を行えたか。 ・HPの更新頻度が1か月以上滞っていないか。また、各グループごとに情報を発信することができたか。  ③職員の8割が、年間を通じてノー残業デーを設けることができたか。					